

### 特 長

- 1.荷重によりたわみが変わる**  
軽荷重に対してはたわみやすく、大荷重に対してはたわみにくい。
- 2.機械のレベルが変わらない**  
支持荷重の大きさに差があっても、機械のレベルはほとんど変わりません。
- 3.機械が歩かない**  
横方向の安定性がよく、機械を床に置いたままでも歩きません。
- 4.寿命が優れている**

製品番号	ゴム硬さ(JIS)	ゴム材質	標準寸法 mm	支持面圧 N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	許容面圧 N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	用途
KHS-40	40	クロロプレンゴム	240 x 480 x 12t	0.1~0.4 {1~4}	0.5 { 5}	軽量機械の 防振防音
KHS-60	60	クロロプレンゴム		0.15~0.6 {1.5~6}	1.0 {10}	一般機械の 防振防音
KHS-90	90	クロロプレンゴム		0.2~0.7 {2~7}	1.5 {15}	重量機械の 防振防音 緩衝

使用温度範囲 クロロプレンゴム -10℃~70℃

### 選定手順

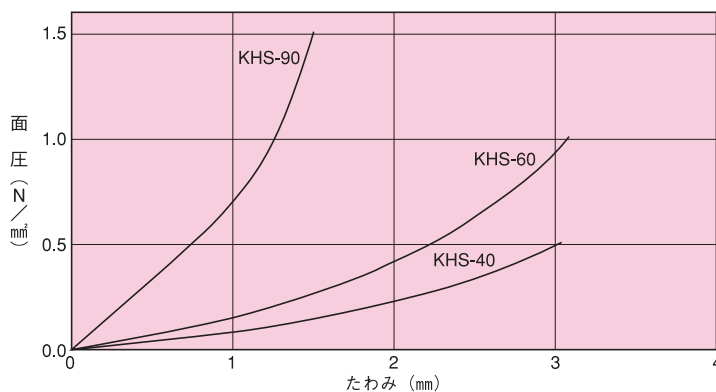
1. 機械の用途により高性能防振パッドの品番を決めます。
2. 選定図により、高性能防振パッドに加えられる面圧を決めます。一般的には安全を見て選定図面圧範囲の中間値を用います。特に防振性能を最優先する時は、最大面圧もしくはそれに近い値を用います。
3. 必要面積の算出

$$\frac{\text{機械荷重 (N)}}{\text{選んだ高性能防振パッドの面圧 (N/mm}^2\text{)}} \div 100 = \text{高性能防振パッドの必要面積 (cm}^2\text{)}$$

4. 支持点一ヶ所あたりの所要面積を求めます。

$$\frac{\text{必要面積 (cm}^2\text{)}}{\text{機械の支持点数}} = \text{支持点一ヶ所あたりの所要面積 (cm}^2\text{)}$$

### 選定図



### 使用説明図

